

★カーステン（カーステンレス）キッチンシンク sink-seraシリーズ について参考事項

●世界のカラーシンクの状況

鋳物ホーロー製シンクは、主に、USA（アメリカ合衆国）や、カナダを中心に使われ、陶器製や、鉄板ホーロー製シンクがヨーロッパでは、組み込まれておりました。近年では、樹脂製がだいぶ使われてきております。

日本でも、1980、90年代には、流し台から欧米のキッチン影響にて、造作キッチン・オーダーキッチンそして、システムキッチンが、少しずつ使われるようになって参りました。そこには、色鮮やかな鋳物ホーローシンク・樹脂製シンク等が組み込まれていました。しかし、日本の使い勝手には、余り適していないようで、いろいろと問題もありました。

そのような状況の中で開発され、皆様に使って戴けるようになりました。
1987年販売より、累計10万台を生産されております。

●鋳物ホーローキッチンシンクの欠点

1、陶器製食器類（コップ・皿・お茶碗・カップ等）ガラスコップ等がシンクに当たった場合や、落とした場合等には、陶器製食器類（コップ・皿・お茶碗・カップ等）ガラスコップ等が破損しやすい。

注：鋳物に重量があり、弾力性がないため、衝撃を吸収出来ない。

2、お鍋や、お釜等をシンクにぶつけた場合、ホーロー質が分厚いために、衝撃に対して、表面のホーロー質が欠けやすい。

●樹脂製シンクの欠点

1、欧米では、シンクを水桶のような使い方をしておりますが、日本では、直接食器をシンク内に置く様な使い方をしていただきますので、樹脂製シンクには、傷が付きやすいところがあります。

2、樹脂製の性質上、表面に、汚れが残りがやすく、清潔好きな日本人の嗜好に合わない場合がございます。

●カーステンシンクの特徴

・製造方法：高温の炉に入れる事により表面にガラス質を溶着させる方法にて、ステンレススティールの表面処理をします。

1、ステンレスの弾力性と、軽量性を合わせて実現。

2、表面のガラス質の高度高いために、クリームクレンザーとナイロンたわしにて簡単に手入れができます。

3、シンクの表面は、ステンレスよりはるかに硬く、鋳物ホーローキッチンシンクと比べてもさらに硬いガラス質を形成。

4、ステンレスのように曇ったり、黒ずんだりしない。

5、納品カーステンシンクは、全て防音仕様です。

●品質特徴

試験	内容	カーステン	鋳物ホーロー	一般ホーロー
鋼球落下	200gの鋼球を1mの高さより落下	◎	○	△
変形強度	素地の変異±4mm	◎	×	×
耐急冷性能	水温+100℃に過熱後水中投下	◎	◎	◎
耐熱水溶解性	蒸留水 煮沸100時間	◎	×	△
常温耐酸性※	10%クエン酸 常温15分接触	◎	◎	○
常温耐アルカリ※	10%炭酸ソーダ 常温15分接触	◎	◎	◎
耐酸性煮沸	4.0%酢酸 煮沸48時間	◎	△	×
耐洗剤	0.05%NaHO 煮沸48時間	◎	○	△
耐塩水性	3%食塩水 常温96時間浸せき	◎	○	○
耐摩耗性	ナイロンタワシ10kg加重10000回往復	○	△	○
耐汚染性能	タバコ・ゲチャップ・紅しょうが等汚れ	◎	◎	◎

※スポットテスト ◎：優れる ○：普通 △：やや劣る ×劣る

注：以上、参考事項書き出しましたが、各人の感覚等の違いにより、感じ方が違います場合がございますので、御理解、御了承の程をお願い申し上げます。参考程度です。